

中小の防衛産業参入促進

装備庁が 展示会 大阪でマッチング機会提供

防衛産業への新規参入を目指す中小、ベンチャー企業など40社・団体の優れた技術や製品を一堂に集めた「防衛産業参入促進展」（防衛装備庁主催）が26日、大阪市北区のハービスホールで開幕した（写真）。大阪での開催は初めて。防衛関連企業や防衛省とのマッチングの機会を提供し、新規参入を後押し



する。会期は27日まで。開会のあいさつで、和田義明防衛大臣補佐は「防衛産業への新規参入の拡大を図るとともに、官民連携を推進し、持続可能な防衛産業を構築するための取り組みを進めていきたい」と話した。

東北エンタープライズ（福島県いわき市）は、米ボストン・ダイナミクス製の4足歩行ロボット「Spot」

を出展。作業や巡視などができ、「防衛関連向けに活用方法を提案できれば」（藁谷嘉知専務取締役営業部長）と話した。

奥谷金網製作所（神戸市中央区）は、パンチングメタルなどの穴あ

き製品の加工技術を提供し、二相ステンレス鋼や炭素繊維強化熱可塑性複合材料（CFRTP）などさまざまな素材へ加工できる。「防衛分野へも技術を広げたい」（担当者）と力を込めた。